

県道岡山牛窓線(2工区)芳岡川橋梁修正設計業務委託(8-1)

業務仕様書

1. 業務目的

本業務は、県道岡山牛窓線(2工区)において、芳岡川橋梁の修正設計を行うもので、平成25年度の設計成果等を基に令和7年10月に改訂された道路橋示方書や最新の河川諸元との整合を図るとともに、芳岡川の河川占用協議資料を作成することを目的とする。

2. 業務内容

2.1 設計計画

本業務の目的・主旨を把握し、業務内容を確認したうえで、業務内容・業務フロー・実施方法・業務工程等を検討し、業務計画を作成する。

2.2 橋梁既往設計の照査

令和7年10月改定版の道路橋示方書に基づき、既往の橋梁設計内容について、橋の性能を照査する。橋の性能照査の対象は、上部構造、下部構造、基礎構造、上下部接合部とする。また、この照査結果について、今後の課題や設計方針を整理する。

なお、図面等の修正が必要となった場合は、金額変更の対象とする。

2.3 施工計画の検討

過年度の設計成果について、施工手順を精査するとともに、大型車両が通行可能な工事用道路を確保し、実現可能な施工手順に修正するものとする。

2.4 関係期間との協議資料の作成

過年度に作成した河川占用協議資料について、上記内容に基づき更新する。更新にあたっては、河川管理者との協議結果を反映するものとする。

2.5 流出計算(合理式)

当該箇所から芳岡川上流域において、合理式による流出計算を行い、計画高水流量を算出する。なお、流出計算にあたっては、貸与図面から流域面積を算出、流出計数の設定、洪水到達時間や平均雨量強度を算出するものとする。平均雨量強度の算出においては岡山県確率雨量強度表(令和8年4月1日)を使用するものとする。

2.6 軟弱地盤技術解析

過年度に実施された液状化検討は旧基準によるものであるため、あらためて新基準(R7道路橋示方書)に従い、液状化抵抗率FLを再検討する。検討に用いる柱状図データ及び室内土質試験データは過年度成果を用いることとし、検討箇所はH22-No.1地点及びH22-No.2地点とする。

2.7 打合せ協議

打合せ協議は、業務着手時、中間打合せ、成果品納入時の3回を予定している。

2.8 関係機関打合せ協議

上記において作成した資料について、河川占用協議を行う。

3. 成果

報告書1部、電子媒体1部